

五分館だより

第5号
豊丘村公民館
第五分館
編集 社会部
印刷 龍共印刷(株)

堀越区の今日
人口 428人
世帯数 99戸
(H1.4.30現在)

天満宮天神の復元

盛大に除幕式が行なわれる

5月2日、史学会の皆さんにより復元された天神様の除幕式が、天神様の施工に当たった石屋さん、村の史学会、教育委員会、区関係者を招いて盛大に行なわれた。



遷座祭式典の模様

天神公園の由来につきましては、第五分館だより第二号で、武田寛さんより明細に記されて居りますので、今回行いました天満宮天神復元について、主旨と経過を簡単にたどりま。

御案内の様に、昭和六十二、六十三年度にわたり、是非復元の実現を計るべく、史学会総会にお計り致しました処、会員諸兄の御協賛を得、尚堀越区の絶大なる御援助と、史学会員皆さんの誠心からなる浄財とに依り、史学会主体で総高さ八尺五寸(約二m五十七cm)の自然石に、毛涯教育委員長

農村公園整備事業に依り、旧天神公園も又グラウンドも面目を一新されました。

この期に史学会員有志に依り、真の天神公園は天神様が公園に祀られて居てこそ天神公園の意義が深い、



天神様と東家

さんの謹書に依る、天満宮天神が復元する事が出来、史学会と致しましては、多年の念願を達成する事が出来、欣快に堪えません。



一体となつての
盛り上がり大きな意義

今年から春のお祭りが変わった。主催は区で変わりが無いが神楽については主体がお祭り青年から年番となり、お祭り青年は年番を応援する恰好となった。



桜も満開、多いに賑わう

そんな事から、今年は年番の意気込みが、練習、打ち上げ、準備、本番、御神酒、と至る所で強く感じられた。お祭り青年はと言えば、練習には少し出席が悪

が伝統を造るのではないのか。今回のお祭りの中にはそのような場面が多く見られた。

若い人の参加が少ないなど問題をかかえているが、お祭りに携わる人々がまず楽しむ事が、問題を解決の方向に導くのではないか。

自分を楽しめない事を、人に押しつけても良い結果は出ない。そういった意味でも、今回の祭りは大成功であったと思われる。

今回の復元を原点とし、青少年の健全な育成の一助ともなり、新世紀に向かって当堀越区の一層の発展を心から祈念致して筆を止めます。

追記

本年十二月豊丘史学会発行予定の「豊丘風土記」には詳細な記事をのせて戴く予定で居ります。是非御講読下さる様御願い致します。堀越史学会会長 田島吉計

黒谷箋

皆さんは、あっちこっちでこんな言葉を聞いた事はありませんか？

「堀越の若い衆は良くまとまってるいいなあ。多勢の同じ様な衆が、家をやつとるし、云々」

私はこの言葉を聞く度に考え込んでしまふ。本当にまとまっているのかなあ。どこが？？？……はた目には良く見えても、縦横のつながりがほとんど無いと思うのは私だけだろうか。

そんな昨今、『お祭り青年』の発展形と言える、堀越に住む全青年を対象とした、青年組織を作ろうと言う動きが出てきた。

『お祭り青年』を今後どうして行ったら良いか、の話し合ひで意見が出され、(祭りだけの為に集まるのではなく、将来の堀越を考えられる組織にしよう)方向づけはされたが、本当に実現できれば素晴らしい事だと思われる。

が、問題も無いわけではない。唯でさえ、めんどろな事がきらいな若い衆が本気になるか。グイグイ引っぱって行けるリーダーは、いるのか、組織の財政は。とにかく、大勢に左右されれない、大勢を左右できる会を望む。(武田正雄)

グループ訪問

昭和五十七年に公民館の呼びかけで、唄う事の大好きな人達が集まり、心のふれあい、老化防止を目的として発足しました。

現在は男性二人を含む十四名で活動し、日本屋瓦の松沢専務さんを先生に毎月九日を練習日と定め、二時間位練習するそうです。

今では民謡のレパートリーも四十曲以上になり、時には演歌も唄うんだと笑っていました。

レパートリーも四十曲余唄ってしゃべって、心のふれあい

皆さんの第一の楽しみは年に一度の懇親会で、先日も夕方ぬけ出し朝帰りで喬木村の小川の湯へ行ってきたとの事です。人はいえない楽しさだったとか。

当番の方が持参した漬物でノドをしめらせて貝殻節を唄って聞かせてくれました。お世辞ぬきに本当に上手なものにはびっくりしました。

民謡ばかりでなく流行の歌も唄って巾の広いクラブ



なごやかで楽しい皆さん

ごあいさつ

分館長 北林 弘

日頃、分館活動につきま
しては心温まるご理解と、
ご協力を頂きまして感謝申
し上げます。

役員も任期の二年目とな
り、いっそう熱意をもって
取り組んでおります。又、
区民の念願であった公園も
整備が完了し、立派な施設
となりました。その完成を
記念しての運動会を開催す
る年でもあり、いっそう充
実した事業が行なえる様、
努力して行く決意でありま
す。

区民の皆様も、事業実施
の折には、こぞって御参加
いただきますよう御願ひ致
します。

青少年育成会

新役員

会長 北林 弘
庶務 日下部 勝英
役員 久保田 義一
宮下 美保子
田島 康嘉
北林 美はる
武田 由美子

堀越青少年育成会
昭和63年度事業及び決算

●収入の部

項 目	63年度決算
繰 越 し 金	38,796
村 よ り	20,000
区 補 助 金	50,000
利 息	100
合 計	108,896

●支出の部

項 目	63年度決算
ミット・グローブ	13,480
子 供 夏 祭 り	18,910
もちつき大会	5,000
お 別 れ 会	17,045
引 き 継 ぎ 会	4,860
スケート場謝礼	5,000
残 金	44,601
合 計	108,896

公民館第五分館 昭和63年度決算及び平成元年度予算

項 目	63年度決算額	備 考	元年度予算額	備 考
収 入 総 額	987,360		1,160,930	
支 出 総 額	951,430		1,160,930	
差 引 残 額	35,930		0	

●収入の部

項 目	63年度決算額	備 考	元年度予算額	備 考
繰 越 金	108,115		35,930	
本館・村補助金	229,000		275,000	
堀越区補助金	650,000		850,000	
利 息	245		—	
合 計	987,360		1,160,930	

●支出の部

項 目	63年度決算額	備 考	元年度予算額	備 考
地域美化運動	22,267	6回実施	20,000	ゴミ片付、桜の手入など
農休日球技大会	72,965	7/24、7/31	80,000	7/30予定
納涼盆踊り大会	70,958	8/14	80,000	8/15予定
グループ発表会	63,200	11/5	—	
スポーツ大会費	87,310	各種大会参加	30,000	マレットゴルフ、ゲートボールなど
文化学習活動費	26,790	7/8、8/6、1/23、2/15、3/5、3/24	70,000	座談会、講演会、講習会など
分館報製作費	62,350	1号～4号	80,000	年4回予定
やぐら製作費	181,000	本年度完成	—	
グループ活動助成	65,000	9グループに助成	65,000	各グループの事業等に助成する
会議・事務費	45,340	20回実施	55,000	
保 險 料	26,250		—	区の保険にて対応
運 動 会	—		300,000	11/3予定
各種大会参加費	—		80,000	本館及びその他の大会へ参加
備 品 購 入 費	—		60,000	用具倉庫、スピーカーなど
役 員 手 当	228,000		228,000	
予 備 費	0		12,930	
合 計	951,430		1,160,930	

分館新役員の紹介

婦人会の方から新しく二
名の方が平成元年度の分館
役として、活躍して頂くこ
とになりました。社会部へ
宮下由子さん中宮部落出身
宮下商店の看板娘。体育部
へ米山安子さん胡芝出身、
米山尚武さんの愛妻です。
お二人にはこの一年間、
豊富な経験を生して、十分
オバタリアンパワーを発揮
して下さいよう期待致しま
す。

お知らせとお願い

第五分館では現在、十グ
ループ余が登録され、盛ん
に活動をしています。
趣味のグループあり、親
睦のグループあり、学習グ
ループとそれぞれです。
他にも登録されている
で、盛んに活動されている
方々もあると思われま
すので、遠慮なく分館の方へ御
連絡を下さい。
又、これから新しく活動
しようと考えている方も、
分館長、主事の方へ御相談
下さい。

編集後記

平成元年度の活動がスタ
ートしたと思ったら、早く
も二ヶ月が過ぎました。
分館報発行も二年目を迎
えて、紙面を益々充実させ
ようと、苦しみながらも社
会部を中心に頑張っていま
す。
この分館報では、多くの
方の声を紙面に掲載できる
ようにしていくつもりです。
活字にしてみたい事があり
ましたら、どしどし分館役
員まで届けて下さい。
お待ちしております。

天神公園を車で

走り回ったのは誰だ!!



タイヤの跡がクッキリと

先日、天神公園へソフト
ボールの練習に行ってみて
驚いた。
きれいに均されて、美し
かった土に、タイヤの跡が
クッキリと何本もついてい
る。しかも、それは面白が

って走り回ったと明らかに
わかるタイヤのマークであ
る。
誰が、いつ、何の目的で
走ったのかわからないが、
我々ランドを使用する者
にとっては迷惑この上ない
のである。
はつきり言って、車であ
のような事をした奴はバカ
だ。許せないのである。
今はロープが張られて、
入りにくくはなったが、私
達区民も注意をし、夜中に
天神公園に登って行くよう
な事があった場合、それな
りの監視が必要ではないだ
ろうか。